

抄録チェックリスト

抄録原稿チェック項目

以下の各項目をご確認ください。内容を確認後、チェックを入れてください。

全般

- ・ 所定のテンプレートを使用し、フォントや行間などを変更していない。
- ・ 書式は、日本心理学会編「執筆・投稿の手引き2022年改訂」、もしくは「執筆・投稿の手引き2015年改訂」 (<https://psych.or.jp/publication/inst/>) に準拠している。
- ・ 文献等を引用する際は、少なくとも本文中には著者名と出版年を明記している（例、山岡他、2025）。
- ・ 改行後には1文字下げている。
- ・ 箇条書きにしていない。
- ・ 用語の定義と使用方法是正しい。
- ・ 実証研究の場合は、目的、方法、結果、考察などの見出しがある。
- ・ 理論研究等の場合は、目的のほか、その内容に応じて、わかりやすい見出しで整理されている。

タイトル

- ・ 研究内容が一目でわかるものになっている。
- ・ 書名のように広すぎる題目でない。

目的

- ・ 関連する先行研究を正しく説明している。
- ・ 目的までの流れ（研究背景、先行研究の問題点、研究の意義など）を適切に書いている。
- ・ 目的（何をどこまで明らかにしようとするのか）を適切に書いている。

方法

- ・ 必要な参加者の属性（人数、瞑想経験の有無など）を書いている。
- ・ 当該研究の実施にあたり、重要な情報を書いている（研究デザイン、介入方法、分析法など）。

結果

- ・ 結果の値は正確で、転記ミスなどはない。
- ・ 統計的な有意性の有無だけでなく、必要に応じてその程度などが具体的に明示されている（相関の場合は r 値、そのほか効果量など）。

考察

- ・ 必要な結果が簡潔にまとめられている。
- ・ 得られた結果を元に解釈できている。

図表（あれば）

- ・ 質・量ともに適切であり、A4サイズで判別可能な形で作成されている（カラーの使用は妨げない）。
- ・ すべての図表には通し番号と適切な表題がつけられており、本文から参照されている。
- ・ 図表には適切なタイトルがつけられ、図表単体として完結した内容になっている。

一時保存

確認しましたか 必須

☐ 確認した

倫理的配慮チェック項目

各項目、いずれか当てはまる方を選択してください。

🔒 一時保存

項目1 必須

☐ はい

☐ 該当せず

本研究に関して、利益相反がある場合は抄録内に明示している。

項目2 必須

☐ はい

☐ 該当せず

商業や勧誘目的など政治的な問題を含まない。

項目3 必須

☐ はい

☐ いいえ

所属の機関等の研究倫理委員会の承認を得ている。

「いいえ」を選んだ方は、以降の項目で「はい」「該当しない」のいずれか当てはまる方を選択してください。

研究倫理委員会等の承認を得ていない方はご回答ください

項目3で「いいえ（倫理委員会の承認を得ていない）」を選んだ方のみ、項目4～10にご回答ください。

「はい」（倫理委員会の承認を得た）を選んだ方は、無記入のまま、次ページへお進みください。

🔒 一時保存

項目4

☐ はい

☐ 該当せず

研究協力者（実験参加者・クライアント、患者など）がいる場合、研究内容を説明したうえで、同意を得ている。

項目5

☐ はい

☐ 該当せず

その同意は、強制のない状況で行われている（例、調査への回答は自由である旨の説明がされている）。

項目6

☐ はい

☐ 該当せず

協力者本人に能力がないことが懸念された場合、後見人の同意を得ている。

項目7

☐ はい

☐ 該当せず

研究の性質上、研究内容について事前に十分な説明ができない場合には、終了後に説明を行っている。

■ 項目 8

臨床的研究の場合、結果の公表について
研究協力者または後見人から文書で同意
を得ている。

☐ はい

☐ 該当せず

■ 項目 9

研究で得られた個人情報は厳重に管理さ
れている。

☐ はい

☐ 該当せず

■ 項目10

著作権のある質問票などは適切な手続きの
上で用いられている。

☐ はい

☐ 該当せず
